

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 教授	氏名 太田 強正	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
文法学習の工夫		2008年 4月 1日 ～現在に至る	スペイン語の授業において、文法の例文を学習する際も、ネイティブの発音を録音し、学生に聞かせている。		
2 作成した教科書、教材					
1年時用共通テキスト Español Actual 「現代標準スペイン語」第三書房		1995年 3月10日 ～現在に至る	担当教員による専門課程1年次用共通テキストを作成することにより、講義内容の重複を避け、スムーズ且効果的に授業を進めることができるようになった。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
学生による授業アンケート結果		2008年 9月 ～現在に至る	平成20年度授業評価アンケート結果を見ると、語源的な説明が学生の興味を引いていることがわかった。		
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
スペイン語語源辞典	単著	2012年12月	(春風者)		
論文					
聖母の奇蹟 I	単著	2014年 9月	(神奈川大学人文研究) (183)		97-130頁
聖母の奇蹟 II	単著	2014年12月	神奈川大学人文研究 (184)		221-259頁

その他					
なし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
		個人研究 ラテン語からスペイン語へ			
		日本イスパニア学会(国内学会)会員			
		日本ロマンス語学会(国内学会)会員			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)
外国語学部スペイン語学科	准教授	新木 秀和	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
小テストの活用	2005年 4月 ～現在に至る	(授業科目：スペイン語初級) ほぼ2回の講義に1回のペースで、授業内容の小テストを実施して、採点し、学生に返却することにより、きめ細かい学習指導を行なっている。	
ビデオ教材の活用および記入レポートの実施	2006年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：ラテンアメリカ研究) 具体的イメージの提供による理解力の増進をねらいとして、いくつかのテーマでビデオを活用し、その度、受講生に感想や意見を書かせ、あるいは記述式設問に解答させて、コメントを付けて返却した。受講生の理解度を把握することができ、同時に出席チェックや成績評価の材料としても役立っている。	
2 作成した教科書、教材			
演習1 共通テキスト「スペイン語文法読本」の作成および活用	2007年 4月 1日 ～現在に至る	学科全教員の協力で、スペイン語演習1用の共通テキスト「スペイン語文法読本」を作成し、授業で使用してきた。これにより、授業内容および進路の統一と連携をはかるとともに、クラス担当教員ごとに密接な連絡を取りつつ効果的に授業運営を実施して、教育上の効果を高めることができている。本テキストは、2年間の試用期間に内容を検討しつつ改訂をはかり、2009年2月に『スペイン語の世界へスペイン語文法入門』として同学社から出版された。2009度より授業で使用している。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
なし			
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
エクアドル共和国に関する赴任国概要講義	2004年 4月 ～現在に至る	エクアドル共和国に関わる実務経験・研究実績(外務省専門調査員時代および以降の調査研究活動期間)を活かして、国際協力事業団(現 国際協力機構)の委託で、エクアドルへの長期派遣専門家に対する赴任国概要講義を毎年あるいは数年ごとに実施してきた。	
5 その他			
なし			
II 研究活動			

著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
世界の色の記号ー自然 ・言語・文化の諸相	共著	2011年 3月	(御茶の水書房)	三星宗雄編。畑田明信、ユン亭 仁、ホウ国躍、小林潔、新木秀 和、八久保厚志、山本俊雄、車 貞ミン、加藤薫、星野澄子、矢 野博。	169-197頁
ラテンアメリカ・オセ アニア	共著	2012年 4月	(ミネルヴァ書房)	菊池努・畑恵子編。堀坂浩太郎 、松本八重子、浦部浩之、新木 秀和、福嶋輝彦、佐島直子、早 川理恵子。	113-133頁
先住民運動と多民族国 家ーエクアドルの事例 研究を中心に	単著	2014年 3月	(御茶の水書房)		
論文					
メスティサへと多文化 主義のはざまーエク アドルにおける先住民 の包摂と排除	単著	2011年10月	人文学研究所報 46号		53-66頁
Movimientos etnicos y multiculturalismo en el Ecuador: Pueblos indigenas, afrodescendientes y montubios	単著	2012年 3月	人文研究 176号 神奈 川大学人文学会		33-57頁
自然の権利とラテンア メリカの資源開発問題 ーエクアドルとボリビ アの事例を中心に	単著	2014年12月	人文研究 184号 神 奈川大学人文学会		41-71頁
その他					
コリア政権誕生にいた るプロセスから現在ま で	単著	2010年 9月	シンポジウム (上智大学 グローバル・コンサーン 研究所主催)		

エクアドル・ヤスニ ITTイニシアティブの 意義と課題（上）	単著	2011年 1月	先住民族の10年News 第 170号		1-2頁
エクアドル・ヤスニ ITTイニシアティブの 意義と課題（下）	単著	2011年 2月	先住民族の10年News 第 171号		1-2頁
エクアドル—アマゾン の石油開発をめぐる社 会的排除と地域住民の 抵抗	単著	2011年 6月	日本ラテンアメリカ学会 第32回定期大会（於：上 智大学）		
Movimientos etnicos y multiculturalismo en el Ecuador: Pueblos indigenas, afrodescendientes y montubios	単著	2011年 9月	科研国際セミナー（於： ペルー問題研究所、ペル ー共和国リマ市）		
コメント：ヤスニITT イニシアティブの現状 と課題	単著	2011年11月	講演会（上智大学グロー バル・コンサーン研究所 主催）		
エクアドルにおける連 帯経済とBuen Vivir概 念	単著	2013年10月	上智大学コモン・グッド 研究会（科研）		
Buen Vivirと自然の権 利—エクアドル憲法の 理念と課題	単著	2013年11月	上智大学イベロアメリカ 研究所		
コレアとチャベス	単著	2013年12月	ラテンアメリカ・レポー ト 第30巻第2号 アジ ア経済研究所 1-1		
自著紹介『先住民運動 と多民族国家—エクア ドルの事例研究を中心 に』	単著	2014年 5月	ラテンアメリカ・カリブ 研究 第21号 つくばラ テンアメリカ・カリブ研 究会 88-92		

書評「宮地隆廣著『解釈する民族運動—構成主義によるボリビアとエクアドルの比較分析』」	単著	2014年 7月	イペロアメリカ研究 第36巻第1号 上智大学イペロアメリカ研究所 85-89		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1987年 6月～現在に至る		日本ラテンアメリカ学会(国内学会)会員			
1992年 4月～2014年 3月		歴史人類学会(国内学会)会員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 アンデス現代史の比較研究			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 ガラパゴス諸島と人間の関係に関する研究			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 現代エクアドルの社会変動に関する研究			
2005年10月～現在に至る		日本ガラパゴスの会 (NPO法人) (国内学会)会員			
2008年 6月～2010年 6月		日本ラテンアメリカ学会(国内学会)運営委員			
2009年 4月～現在に至る		機関内共同研究 (神奈川大学人文学研究所)活字文化の研究			
2009年 4月～2012年 3月		科学研究費補助金 18,200,000円 「基盤研究(A)」国家社会システムの転換と政党の変容・再生—ポスト新自由主義期中南米の比較研究 (研究分担者)			
2009年10月～現在に至る		日本ガラパゴスの会 (NPO法人) (国内学会)理事			
2010年 4月～現在に至る		国内共同研究 (京都大学地域研究統合情報センター)ラテンアメリカにおける新自由主義の浸透と政治変動			
2010年 4月～2013年 3月		科学研究費補助金 12,000,000円 「基盤研究(B)」グローバル化時代における南北アメリカの国家・市民社会・社会運動 (研究分担者)			
2010年 6月～2014年 6月		日本ラテンアメリカ学会(国内学会)理事 (会報編集担当)			
2012年 4月～2015年 3月		科学研究費補助金 18,200,000円 「基盤研究(A)」新自由主義改革後の国家社会関係—中南米における社会支出予算決定過程の比較研究 (研究分担者)			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 准教授	氏名 V・カルデロン	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
「21世紀COEプログラム成果 言語モジュール」-----スペイン語		2003年 4月 ～現在に至る	東京外国語大学21世紀COEプログラム「言語運用を基盤とした言語情報学拠点」TUFS言語モジュール (eラーニング発音・会話教材) 校閲・作成・出演 アクセス： http://www.tufs.ac.jp/		
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
EL ESCENARIO (CANELA学会)		2014年 5月	(関西外国語大学)		

EL ESCENARIO (DEL CRIMEN)	単独	2014年 5月	(名古屋)		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1988年 4月～現在に至る		日本イ ス パニヤ学会 - スペイン史学会 - カネラ学会(国内学会)会員			
2008年 1月～現在に至る		個人研究 スペイン演劇史			
2011年 4月～2011年11月		神奈川大学スペイン語学科学生演劇「人生は夢」の上演 脚本・演出・監督			
2013年 4月～2013年11月		神奈川大学スペイン語学科学生演劇「ベルナルダ アルバの家」の上演 脚本・演出・監督			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 准教授	氏名 アルトゥーロ バロン ロペス	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
ゼミ論文		2006年 4月 1日 ～現在に至る	私のゼミでは、3年生からグループと個人で「教育」と「言語」について発表や討論を実践し、4年生ではスペイン語圏に関する卒業論文を、私の監督の下にスペイン語で作成します。それらの経験により、アカデミックな研究方法に慣れる事ができます。		
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
初歩のスペイン語(13)	共著	2013年 3月	(放送大学教育振興会)	竹村 文彦 坂田 幸子	
論文					
なし					
その他					

研究発表(日本スペイン語学ゼミナー SELE 2011)「Huellas de la pragmática del japonés en el español escrito de los estudiantes」	単著	2011年 9月			
研究発表(CANELA第23回大会)「日本人学習者のスペイン語学習に対する意識と中間言語: Case Study」	単著	2012年 5月			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
2000年 4月～現在に至る		日本イスパニア学会(国内学会)会員			
2000年 4月～現在に至る		東京スペイン語学研究会(国内学会)会員			
2001年 4月～現在に至る		AESLA (スペイン語応用言語協会)(国際学会)会員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 第二外国語習得			
2005年 5月～現在に至る		CANELA (日本・スペイン・ラテンアメリカ学会)(国内学会)会員			
2009年12月～現在に至る		個人研究 第二言語のリテラシー			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 准教授	氏名 菊田 和佳子	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
文法および学習事項確認の小テストの実施		2006年 4月 1日 ～現在に至る	自宅学習の機会を増やすため、また継続的学習を实践させるために、専攻語の演習科目のすべてで文法および学習事項確認のための小テストを毎回実施している。		
2 作成した教科書、教材					
第二外国語学習者向けテキスト「二つの世界で」の作成 (共著)		2007年 4月 1日 ～現在に至る	第二外国語学習者用にテキスト「二つの世界で」を作成した。現在は入門スペイン語 (B) において使用している。		
レベル別スペイン語文法ドリル		2009年 1月15日 ～現在に至る	スペイン語の自習用ドリルを作成した (共著)。授業では特に用いていないが、自習の方法や教材を質問に来る学生に紹介し、必要があればコピーを配布している。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
スペイン語学科カリキュラム委員としての活動		2010年 4月 1日 ～現在に至る			
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
デイリーコンサイス西 和・和西辞典	共著	2010年 5月	(三省堂)	編者：寺崎英樹、Enrique Contreras、編集委員[西和]：阿部三男、山村ひろみ、上野勝弘、菊田和佳子、[和西]木村琢也、斎藤華子	

論文					
なし					
その他					
なし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1996年 4月～現在に至る		個人研究 スペイン語史における不定詞と無強勢代名詞の融合現象			
1996年 4月～現在に至る		日本イソパニア学会(国内学会)会員			
2000年 4月～現在に至る		個人研究 スペイン語の無強勢代名詞の位置の変遷			
2011年～現在に至る		個人研究 スペイン語通時音韻論			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
外国語学部スペイン語学科	教授	小倉 英敬	
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
横浜市鶴見区における外国人子弟の学習支援	2012年 4月 ～現在に至る	横浜市鶴見区役所、鶴見国際ラウンジ及びNGO組織と協力してスペイン語学科学生を国際ラウンジ主催の外国人子弟学習支援に参加させ、多文化共生時代の実態を体験させた。	
ゼミにおける神奈川県内在住外国人の実態調査	2014年 4月 7日 ～現在に至る	2014年度ゼミにおいて3年生および4年生を全員参加させ8つのグループに分けて神奈川県内に在住する外国人の実態につき、特に外国人子弟の学習支援と外国人労働者に対する就労支援に焦点をあてて県庁・各市区町12箇所を調査し、2015年一月に「仮報告」をまとめた。	
2 作成した教科書、教材			
メディア教材「先住民は今～メキシコ・チアパスの旅から」	2011年 9月 1日 ～2012年 1月31日	2011年9月上旬に学生10名を引率してメキシコ・チアパスを訪問し、1994年1月に北米自由貿易協定（NAFTA）発効以後の同州における先住民社会の変化を取材しDVD教材を制作した。	
メディア教材「キューバの観光開発」	2012年 9月 1日 ～2013年 1月31日	2013年9月上旬に学生3名を引率してキューバを訪問し、観光省、観光公社教社を訪問して責任者にインタビューを行うとともに、同国内の観光地を歴訪して取材し、DVD教材を制作した。	
メディア教材「カリブ音楽を訪ねて～プエルトリコとドミニカ共和国への旅から～」	2013年 9月 1日 ～2014年 1月31日	2013年9月上旬に学生11名を引率して米国自治州のプエルトリコとドミニカ共和国を訪問し、サルサ、レゲトン、メレンゲ、バチャータの発生地や関連施設を訪問して取材し、それを基にDVD教材を制作した。	
メディア教材「国際社会の変動と日本企業～メキシコの場合～」	2014年 9月 1日 ～2015年 1月31日	2014年9月上旬に学生8名を引率してメキシコを訪問し、近年増加した進出企業を訪問して各社がどのような国際認識に基づいて企業戦略を展開しているかについて取材しDVD教材を制作した。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
なし			
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
なし			
5 その他			

なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
マリアテギとアヤ・デ ・ラ・トーレ 192 0年代ペルー社会思想 史試論	単著	2012年10月	(新泉社)		
論文					
アブラ運動の形成時期 に関する一考察	単著	2011年 8月	人文研究(神奈川大学人 文学会) (174)		61-94頁
1920年代ペルー・ クスコ地方における共 産主義運動の形成	単著	2011年11月	人文学研究所報(神奈川 大学人文研究所) (46)		1-18頁
1920年代における アヤ・デ・ラ・トーレ の政治思想	単著	2011年12月	人文研究(神奈川大学人 文学会) (175)		25-64頁
20世紀初頭ペルーに おける”ヌエボ・イン ディオ”論	単著	2011年12月	人文研究(神奈川大学人 文学会) (172)		1-28頁
世界の風 ウマラ政権 の誕生と行方	単著	2012年	世界(岩波書店) (821)		
ラテンアメリカ196 8年論序説	単著	2012年 3月	人文学研究所報(神奈川 大学人文学研究所) (47)		1-23頁
1930年代ペルー・ アブラ(PAP)と寡頭 支配制	単著	2012年 3月	人文研究(神奈川大学人 文学会) (176)		1-32頁
ラテンアメリカ 脱・ 新自由主義の歴史的意 味	単著	2012年 6月	世界(岩波書店) (818)		

1968年論(1)メキシコの場合	単著	2012年 8月	人文学研究所報(神奈川県人文学研究所) (48)		1-23頁
ラテンアメリカ1968年論(2)ペルーの場合	単著	2013年 3月	(49)		55-76頁
ラテンアメリカ1968年論(3)キューバの場合	単著	2013年 8月	人文学研究所報(神奈川県人文学研究所) (50)		93-114頁
ラテンアメリカ1968年論(4)チリの場合	単著	2014年 3月	人文学研究所報(神奈川県人文学研究所) (51)		91-113頁
世界構造変革に向けたラテンアメリカの挑戦	単著	2014年 3月	神奈川県大学評論(神奈川県大学) (77)		113-125頁
その他					
書評『ローリー・キャロル著「ウーゴ・チャベス ベネズエラ革命の内幕」』	単著	2014年 8月	図書新聞(図書新聞) (3170)		5-5頁
キューバを取り巻く国際環境	単独	2014年12月			
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1999年 4月～現在に至る		ラテンアメリカ政経学会(国内学会)会員			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 准教授	氏名 片岡 喜代子	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
思考レベルでの授業参加		2012年 4月11日 ～現在に至る	言語現象を記述し、一般化を引き出し、理論的説明を与えるという、言語に対する捉え方を養うことを授業で行う。毎回、内容に沿った課題を考えさせることで、言語現象分析の論理的思考の訓練を行っている。		
ゼミ生に対する論文指導		2013年 4月12日 ～現在に至る	三年生では言語学の基盤作りをすると同時に言語現象分析への取り組みの方法を指導し、学年末には各自の課題でレポートを作製した。四年次では、そのレポートをさらに発展させて、卒業レポートを完成させるよう、発展の道筋を取れるよう指導を行っている。		
2 作成した教科書、教材					
自主教材作製		2012年 4月11日 ～現在に至る	日本語とスペイン語の対照理論研究を行っているスペイン語学部の授業では、毎回のテーマにそった独自の教材を作製して、配布している。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
否定極性と統語的条件	単著	2010年 6月	『否定と言語理論』		

言語情報の確実性アノテーションのための様相表現の分類	共著	2010年 8月	九州大学言語学論集第31号 九州大学大学院人文科学研究院言語学研究室編	川添愛、 <u>片岡喜代子</u> 、共著者ほか3名	
否定極性と統語的・意味的条件—日本語記述に基づくスペイン語否定現象再考—	単著	2010年12月	HISPANICA第54号 日本イスタニヤ学会 pp. 43-65		
否定関連現象から見た日本語とスペイン語	単著	2012年 3月	『日本語・日本学研究』（東京外国語大学国際日本研究センター）（第2号）		113-130頁
Review. 'Expression and Interpretation of Negation: An OT Typology.' By Henri de Swart, Studies in Natural Language and Linguistic Theory 77, Springer, Dordrecht, Heidelberg, London, New York, 2010, xvii+279pp. (査読付)	単著	2012年 6月	English Linguistics 29-1		155-165頁
言語の普遍的原理と個別特質—日本語とスペイン語の否定関連現象から— (査読付)	単著	2012年 6月	KLS 32. Proceedings of the ThirtySixth Annual Meeting (32)		61-72頁
その他					

学会発表：「様相・否定・条件表現の言語学的分析に基づく確実性アノテーションスキーマの設計」	共著	2010年 6月	2010年度人工知能学会全国大会（第24回）長崎県：長崎市長ブリックホール		
様相・否定・条件表現の言語学的分析に基づく確実性アノテーションスキーマの設計	共同	2010年 6月	2010年度人工知能学会全国大会(第24回, 2C3-2)(長崎ブリックホール(長崎市))	川添愛、齊藤学、崔栄珠、戸次大介	
学会発表：「様相・否定・条件表現の言語学的分析に基づく確実性判断のためのアノテーション済みコーパスの構築」	共著	2011年 3月	言語処理学会第17回年次大会(NLP2011) 愛知県：豊橋技術科学大学		
様相・否定・条件表現の言語学的分析に基づく確実性判断のためのアノテーション済みコーパスの構築	共同	2011年 3月	言語処理学会第17回年次大会(NLP2011)(豊橋技術科学大学(愛知県))	川添愛、齊藤学、崔栄珠、戸次大介	
章別和文要約：新文法第48章 否定NGLE 48. La negacion, pp. 3631-3715	単著	2011年 3月			
ホカとシカの意味特質と統語的条件	共同	2011年 6月	日本言語学会第142回大会(日本大学文理学部(東京都))	宮地朝子(名古屋大学)	
学会発表：「ホカとシカの意味特質と統語的条件」	共著	2011年 6月	日本言語学会第142回大会 東京都：日本大学文理学部		
学会発表：「言語の普遍的原理と個別特質—日本語とスペイン語の否定関連現象から—」	単著	2011年 6月	関西言語学会第36回大会 大阪府：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス		

言語の普遍的原理と個別特質—日本語とスペイン語の否定関連現象から—	単独	2011年 6月	関西言語学会第36回大会 (大阪府立大学中百舌鳥キャンパス (大阪府堺市))		
「否定関連現象から見た日本語とスペイン語」『外国語と日本語の対照言語学的研究』第4回研究会	単独	2011年 7月	『外国語と日本語の対照言語学的研究』第4回研究会(東京外国語 大学国際日本研究センター対照日本語部門 (東京都))		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1981年 4月～現在に至る		日本イスペインヤ学会(国内学会)会員			
1998年10月～現在に至る		関西言語学会(国内学会)会員			
2000年10月～現在に至る		日本言語学会(国内学会)会員			
2008年 4月～2011年 3月		科学研究費補助金 (日本学術振興会)「基盤研究(C)」 確実性アノテーション: 『確実性判断を表す意味的文脈』を記述したコーパスの構築 (研究分担者)			
2009年 7月～現在に至る		アメリカ言語学会(国際学会)会員			
2010年 4月～2013年 3月		科学研究費補助金 (日本学術振興会)1,950,000円 「基盤研究(C)」言語の普遍性と言語間変異の理論的研究: 日本語の「とりたて」現象から (研究代表者)			
2010年 4月～2015年 3月		科学研究費補助金 (日本学術振興会)2,730,000円 「基盤研究(C)」名詞の形式化・文法化にみる日本語の構文構造史 (研究分担者)			
2012年12月 1日～2014年11月30日		独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 助教	氏名 西田 依麻	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
Sancho Panza como otro candidato m´s en La elección de los alcaldes de Daganzo: algunos paralelismos entre el entremés cervantino y el Quijote.	共著	2011年	(サンティアゴ・デ・コンポステラ大学出版)	Antonio Azaustre Galiana y Santiago Fernéndez Mosquera編。Compostella aurea.	

El Quijote y el Tonto entrañable: estudio comparativo sobre las semejanza y puntos de contacto de la novela cervantina en la obra de Shusaku Endo.	共著	2013年	(カステイージャ・ラ・マンチャ大学出版)	Hans Christian Hagedorn編。 Don Quijote por tierras extranjeras. Estudios sobre la recepción internacional de la novela cervantina. セルバンテス作	
Los romances viejos y nuevos en el Quijote de lonso Fernandez de Avellaneda (1614). (査読付)	共著	2013年	(Pictavia aurea. Auctas del IX Congreso de la Asociacion Internacional "Siglo de Oro" (Poitiers, 11-15 de julio de 2011), Presses Universitaires du Mirail)	Emma Herran Alonso y Alain Bègue編。	pp. 579-585. 頁
NIJYO TAMEUJI (査読付)	共著	2013年	(Para otras mil generaciones mas... antologia poetica japonesa desde el Kojiki a nuestros dias, Amargord)	Fernando Cid Lucas他	pp. 35-36. 頁
論文					

El número siete, la mañana de San Juan, los pújaros y las plantas: unas observaciones sobre la simbología del amor en el romancero viejo.	単著	2012年	Cuadernos Canela		
その他					
学会発表 Los romances viejos y nuevos en el Quijote de Alonso Fern´ndez de Avellaneda (1614).	単著	2011年 7月	国際黄金世紀学会 第九回大会 (於 フランス、ポアティエ大学)		
学会発表 El Quijote para j&ocutevenes: una edici&ocuten de la novela cervantina en la era Taishô.	単著	2012年 5月	国際研究学会 日本と西班牙黄金世紀 ~その交流と影響の諸相~ (於 スペイン、マドリッド自治州大学)		
III 学会等および社会における主な活動					
年月	内容				
2003年 5月～現在に至る	国際セルバンテス学会 会員				
2006年 5月～現在に至る	日本イスパニヤ学会 会員				
2006年 7月～現在に至る	東京スペイン語文学研究会 会員				
2006年 9月～現在に至る	アメリカ・セルバンテス学会 会員				
2006年 9月～現在に至る	スペイン語教育研究会 (GIDE) 会員				
2008年 4月～現在に至る	中央大学人文科学研究所 客員研究員				
2008年 7月～現在に至る	国際黄金世紀学会 会員				
2011年 6月～2012年 5月	マドリッド自治州大学 研究プロジェクト客員研究員				

2011年 6月～2011年 7月

国際黄金世紀学会第九回大会 運営委員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 特任助教	氏名 梅崎 かほり	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
ボリビア村落部における アフロ系住民の民族 意識—オーラルヒスト リーをもとに	単著	2010年 6月	日本ラテンアメリカ学会 第31回定期大会(京都大 学)		
III 学会等および社会における主な活動					

年月	内容
2000年 4月～現在に至る	慶應義塾大学ラテンアメリカ研究 自主ゼミ
2005年 3月～現在に至る	日本ラテンアメリカ学会 会員
2006年 4月～現在に至る	アンデス社会研究会 会員
2007年11月～現在に至る	日本政治社会学会 会員
2010年 3月～現在に至る	日本オーラルヒストリー学会 会員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部スペイン語学科	職名 特任教授	氏名 青木 康征	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
なし					
III 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1974年 4月～現在に至る		日本イスパニア学会(国内学会)会員			
1980年 4月～現在に至る		日本ラテンアメリカ学会(国内学会)会員			

2005年 4月～現在に至る	個人研究 コロンブス研究
2005年 4月～現在に至る	個人研究 スペイン語教材開発
2005年 4月～現在に至る	個人研究 ラテンアメリカ史